

2018年6月1日

各 位

RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）の本番導入について

株式会社山形銀行（頭取 長谷川 吉茂）は、昨年12月より試行導入を進めてきたRPA（※）について、本番導入することを決定しましたので、お知らせいたします。

この取り組みを通じ、一層の業務効率化および業務品質の向上を進め、「お客さまサービスの質の向上」につなげてまいります。

記

1. 導入開始日
2018年6月1日 ～
2. RPA ソフトウェア
NTT データ「WinActor（ウインアクター）」
3. 導入目的
 - (1) 業務効率化による生産性の向上
 - (2) ヒューマンエラーの削減による業務品質の向上
4. 対象業務
本部内における集計・報告作業をはじめとした定型・定例業務 等
(年間作業時間約 1 万時間分の業務を移行検討対象として、
RPA 活用を拡大してまいります)

(※) RPA：アール・ピー・エー
ロボティック・プロセス・オートメーションの略で、これまで人間が行っていた
定型業務等をソフトウェアロボットが代替することで、業務の効率化・
自動化を図る取り組み

以 上

本件に関するお問い合わせ先
広報 CSR 戦略室 二宮
TEL 023-623-1221 (代表)